



健やか親子21

SSKP

認定NPO法人
難病のことも支援全国ネットワーク

がんばれ!

平成27年10月10日
臨時増刊号

〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル
Tel.03-5840-5972 Fax.03-5840-5974 電話相談室 03-5840-5973
http://www.nanbyonet.or.jp ganbare@nanbyonet.or.jp

病弱教育セミナー

2016

受講生募集

1月9日(土) 10:00~10日(日) 17:00



病弱教育に携わる教師や医療・福祉の現場でこれらの子ども達と接しておられる方々を対象としたセミナーのお知らせです。関係者にご回覧ください。

認定NPO法人

難病のことも支援全国ネットワーク

中面に受講申し込み記入欄があります。切り取って「難病のことも支援全国ネットワーク」まで、FAXまたは郵便にてお送りください。

病弱教育セミナー2016 受講生募集中

近年、病気療養児にとって教育が極めて大切であるという、社会的な認識が高まってきています。病気療養児にとって、教育は単に学習効果をあげるのみならず、病気回復の意欲を培い、治療効果をより高めるとの知見も得られています。

そこで、病弱教育に携わる教師や医療・福祉の現場でこれらの子ども達と接しておられる方々を対象に、わが国の病弱教育の現状や、病気の種類とその特徴、医療の現場の実際、入院や在宅している子ども達の実情をもとに、病気療養児の教育充実を目的に本セミナーの開催を計画いたしました。

期 日 平成28年1月9日(土)開講 10:00~10日(日)閉講 17:00

場 所 飯田橋レインボービル会議室
03-3260-4791 東京都新宿区市谷船河原町11番地

交 通 JR総武線、地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線飯田橋駅から徒歩約5分~9分

対 象 特別支援教育を担当する教師及び医療や福祉関係者、並びに関心のある人々。先着40名。

受講料 10,000円 ※宿泊・食事は各自でご用意ください。

主 催 認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

後 援 厚生労働省・文部科学省・日本育療学会・全国病弱教育学校PTA連合会(予定)

助 成 一般財団法人日本児童教育振興財団

講 師 山城雄一郎(順天堂大学大学院プロバイオテクス講座教授、難病のこども支援全国ネットワーク相談役)

横田 雅史(帝京平成大学現代ライフ学部教授)

三宅 捷太(みどりの家診療所所長、難病のこども支援全国ネットワーク理事)

下山 郁子(横浜重心グループ連絡会 ~ばざばネット~会長)

萩庭 圭子(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官)

真部 淳(聖路加国際病院小児科医長)

斉藤 淑子(育英短期大学・金沢大学非常勤講師、元特別支援学校院内学級教諭)

山田 浩之(厚生労働省健康局難病対策課課長補佐)

高山 喜乃(東京都立小児総合医療センター・ピアサポーター)

岡 明(東京大学医学部小児科教授、難病のこども支援全国ネットワーク理事)

広瀬 宏之(横須賀市療育相談センター所長)

海津 敦子(フリージャーナリスト)

椿 俊和(つばきこどもクリニック院長)

栗山真理子(NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」代表)



カリキュラムスケジュール

演 習 病気の子どもの教育に生かせるカウンセリング

- 講 義**
- ① 肢体不自由の子どもの学校生活
 - ② 特別支援教育と病気や障害のある子どもの教育
 - ③ ターミナルケアの子どもの学校生活
 - ④ 厚生労働省の取り組み
 - ⑤ 保護者から病気や障害のある子どもの教育に望むこと

- ⑥ 病気や障害の子の教育の意義
- ⑦ 発達障害の子どもの学校生活
- ⑧ 免疫・アレルギー性疾患の子どもの学校生活
- ⑨ これからの教育の対象児と新しい医療



認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク 〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル
TEL.03-5840-5972 FAX.03-5840-5974, ganbare@nanbyonet.or.jp http://www.nanbyonet.or.jp

病弱教育セミナー2016 受講申込書

FAX.03-5840-5974

氏名(ふりがな)	性別 男・女	年齢	職業
住所：〒			
TEL	FAX	E-mail	

※このページをコピーして、下の受講申込欄に必要事項をご記入し、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

病弱教育セミナー2016 **カリキュラム・スケジュール**

日	時間	事項	テーマ	内容	講師等	
11月9日 (土)	9:45	開場 受付開始	集合場所／飯田橋レインボービル1階 C+D会議室			
	10:00 12:30	演習	病気の子どもの教育に 生かせるカウンセリング	子ども達へのカウンセリング マインドの基本を確認し、実際 のあり方の一端を体験する。	横田 雅史	
	昼食休憩 (自由)					
	13:30 14:50	講義 1	肢体不自由の子どもの 学校生活	車いすの利用など肢体不自由 を伴う病気や障害のある子の 学校生活を考える。	三宅 捷太 下山 郁子	
	15:00 16:20	講義 2	特別支援教育と病気や 障害のある子どもの教育	病気の子どもたちの教育の現状と 今後の病弱教育について考える。	萩庭 圭子	
	16:30 17:50	講義 3	ターミナルケアの子ども の学校生活	ターミナルケアの対象となった 子どもの学校生活を考える。	真部 淳 斉藤 淑子	
	11月10日 (日)	9:00	開場	集合場所／飯田橋レインボービル1階 C+D会議室		
		9:10 10:00	講義 4	厚生労働省の取り組み	慢性疾患等のある子どもへの 国のサービスを知る。	山田 浩之
		10:10 11:00	講義 5	保護者から病気や障害 のある子どもの教育に 望むこと	病気や障害のある子の保護者 は、教育現場にどのようなこと を望んでいるのか。期待してい ることは何か?困っていることは どんなことか?	高山 喜乃
		11:10 12:00	講義 6	病気や障害の子の教育 の意義	慢性疾患、難病、障害のある子 にとって、学校の意味するもの、 これらの子ども達にとって教育 の重要性について考える。	山城雄一郎
昼食休憩 (自由)						
13:00 14:20		講義 7	発達障害の子どもの 学校生活	発達障害の子どもの学校生活 を考える。	広瀬 宏之 海津 敦子	
14:30 15:50		講義 8	免疫・アレルギー性疾患 の子どもの学校生活	ぜんそくやアレルギー疾患など 生活の規制を伴う病気や障害 のある子の学校生活を考える。	椿 俊和 栗山真理子	
16:00 17:00		講義 9	これからの教育の対象児 と新しい医療	医学が発達し、様々な病気や 障害のある子の多くが通常学級 への就学を希望している。新しい 医療はどのようなものか、どの ような子が学校へ来るのか。	岡 明	

※会場が飯田橋レインボービル会議室に変更となりました。



ネットワーク電話相談室

月曜日～金曜日 午前11時～午後3時

 03-5840-5973

医療や福祉、教育に関すること。親の会の情報や同病の仲間さがしその他、病気や障害のある子の様々なご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

遺伝（先天異常） 特別相談日

毎月第3金曜日 午後2時～午後5時

 03-5840-5973

沼部博直先生（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース教授）が先天異常疾患のお子様の療育に関する相談に応じています。



認定NPO法人

難病のこども支援全国ネットワーク

認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク
〒113-0033 東京都文京区本郷1-15-4 文京尚学ビル
TEL 03-5840-5972 FAX 03-5840-5974
ganbare@nanbyonet.or.jp
<http://www.nanbyonet.or.jp>

